

熊本地震から10年、東日本大震災から15年、地震学はどこまで進んだのか

2026年は熊本地震から10年、津波で甚大な被害をもたらした東日本大震災からも15年という節目の年です。はたして地震学および地震予知研究はどこまで進んだのでしょうか。

地震学ではこれまで巨大地震の確実な前兆現象は存在しないと言われていましたが、東日本大震災を契機に地震発生の直前（数十分前）に確実な異常が発生している事が発見されました。さらに現在は「南海トラフ臨時情報」というものが発表されるスキームとなりました。予知は不可能と喧伝される中、なぜこのような情報が出せるのでしょうか。講演では最新の地震学の知見とともに、被害を減らすために最重要な「家を壊さない」という事についても触れる予定です。

2026年4月18日(土)

14:00 - 15:30 (質疑応答含む)

「会場受講」できます
(会場は望星学塾)

◆受講料: ①望星学塾会員 **無料** ②一般 **1,000円**

当日受付にて支払い

◆参加方法: ①望星学塾会員 (会場またはオンライン) ②一般 (会場のみ)

◆定員: 会場は先着**30名** オンラインは先着**50名**

<PROFILE>

東京大学大学院理学系研究科博士課程修了・理学博士
専門は固体地球物理学(地震予知、地球熱学、地震学) 地震防災啓発活動

【職歴】

- 2001年 4月 東海大学教授
- 2015年 4月 東海大学大学院博士課程・地球環境科学研究科長
- 2016年 4月 東海大学海洋研究所長
- 2021年 3月 東海大学を定年退官

1981-83年 第22次日本南極地域観測隊に参加、昭和基地で越冬

【主要著書】

- ・地震予知研究の新展開/近未来社 <2001年>
- ・地震予知の科学/東京大学出版会 <2006年・共著>
- ・地震前兆現象を科学する/祥伝社 <2015年・共著>
- ・巨大地震列島/ビジネス社 <2022年>



長尾 年恭 Nagao Toshiyasu

東海大学海洋研究所 客員教授
静岡県立大学客員教授
(一社) 日本地震予知学会会長

<受講方法> **事前申込が必要です。申込期日 4月17日(金) 13:00厳守**

①望星学塾会員 (会場またはオンライン)

- ・会場受講、オンライン受講ともにお送りしています
メールからお申込ください。

※申し込み登録が承認されますと、
<no-reply@zoom.us>より自動返信メールが届きますので、案内をご確認ください。

②一般 (会場のみ)

- ・会場でのみの受講となります。
お電話にてお申込ください。
電話番号 **0422-51-0161**
(電話受付時間: 月~金 **9:00~17:00**)
- ・講座当日は**13:30**より受付開始いたします。
受講料は当日受付でお支払いください。

おつりのないよう
ご用意ください

- ◆当日会場で受講される方はスリッパのご準備をお願いいたします。
- ◆悪天候時の開催の可否についてはホームページやFacebookに掲載いたします。

【お問合せ】

学校法人東海大学望星学塾 〒180-0013 東京都武蔵野市西久保1-17-1
TEL:0422-51-0161 FAX:0422-53-1025 E-MAIL: bousei@tokai.ac.jp

ホームページ
Facebookは
右のQRコードから
それぞれのページへ
進んでください

